

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2013年度下半期の発行動向～

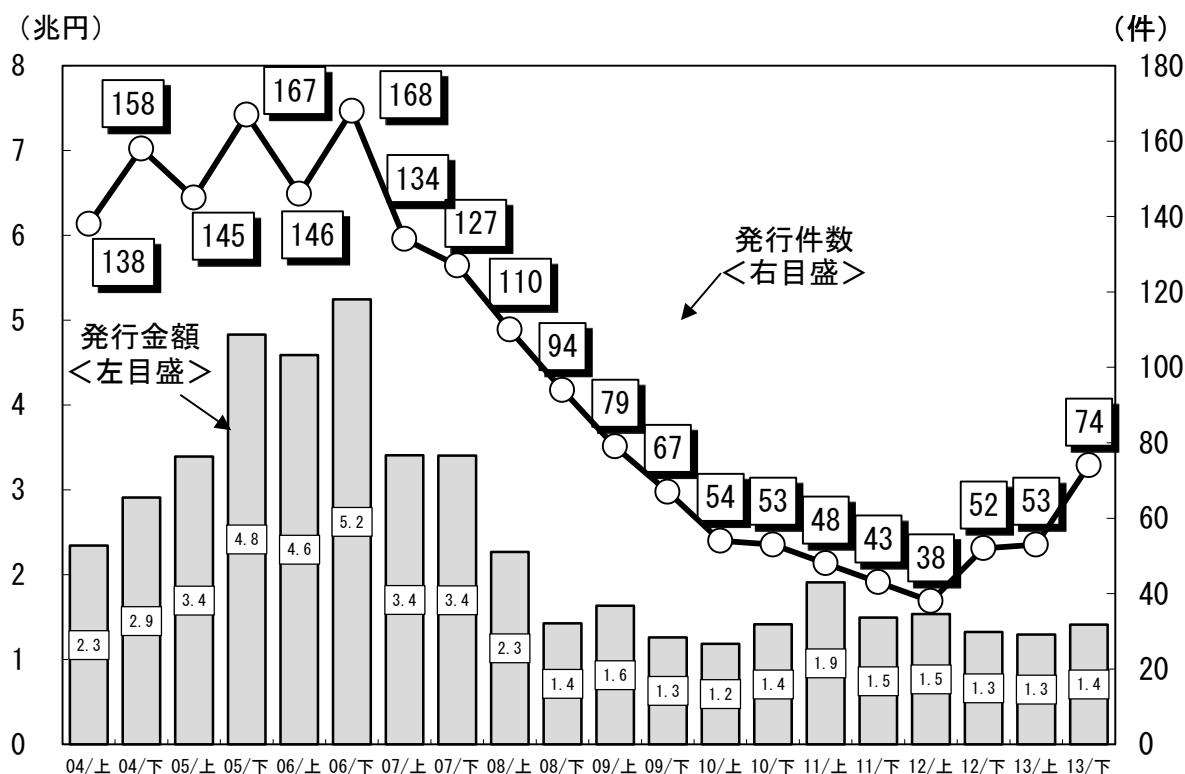
以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2013年度下半期（2013年10月～2014年3月）の結果を取り纏めたものです。図表データについては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2013年度下半期における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに、前年同期を上回った（金額1兆4,140億円<前年同期比+7%>、件数74件<同+42%>）。（図表1）。

（参考）2013年度下半期における普通社債の発行金額は3兆2724億円（暫定数値）であった。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



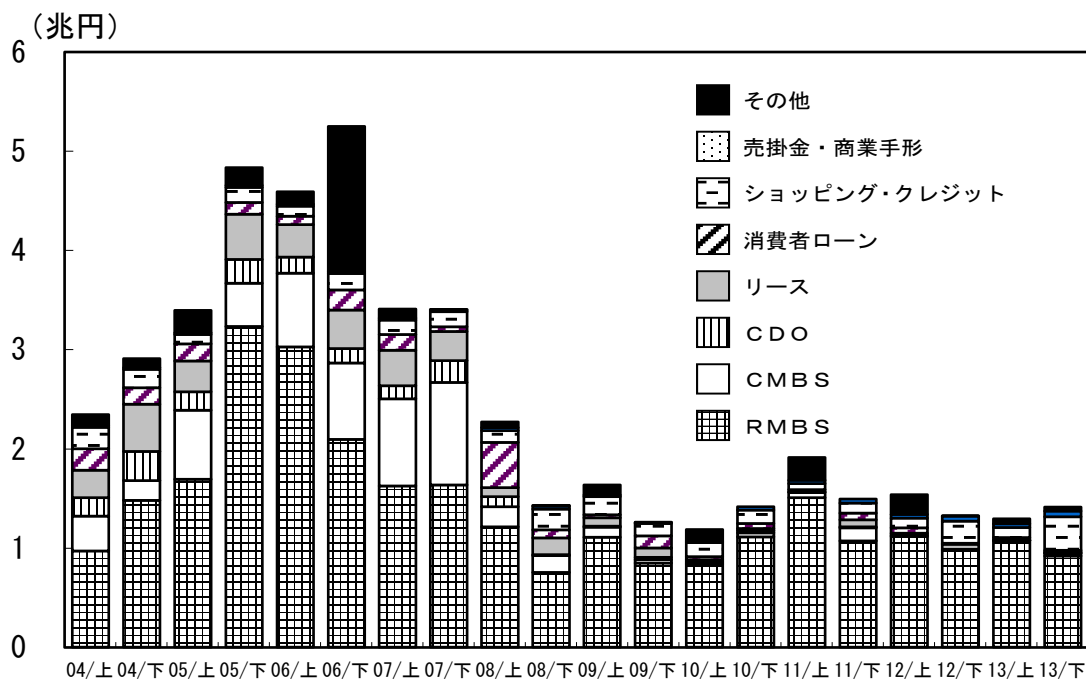
2. 裏付資産別の発行動向

2013年度下半期における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「CMBS」、「CDO」、「消費者ローン」、「ショッピング・クレジット」、「売掛金・商業手形」及び「その他」が増加した。一方、「RMBS」及び「リース」は減少した（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金・商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	9,194	271	22	101	180	3,365	570	438	14,140
前年同期比(億円)	▲546	118	22	▲378	50	1,158	49	413	885
前年同期比(%)	▲6	+77	- (※)	▲79	+38	+52	+9	+1,651	+7
構成比(%)	65	2	0	1	1	24	4	3	100
(参考)発行件数	20	2	2	1	2	22	21	4	74

※「CDO」の前年同期比(%)については、前年同期の発行がないため、「—」としている。



（参考）裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

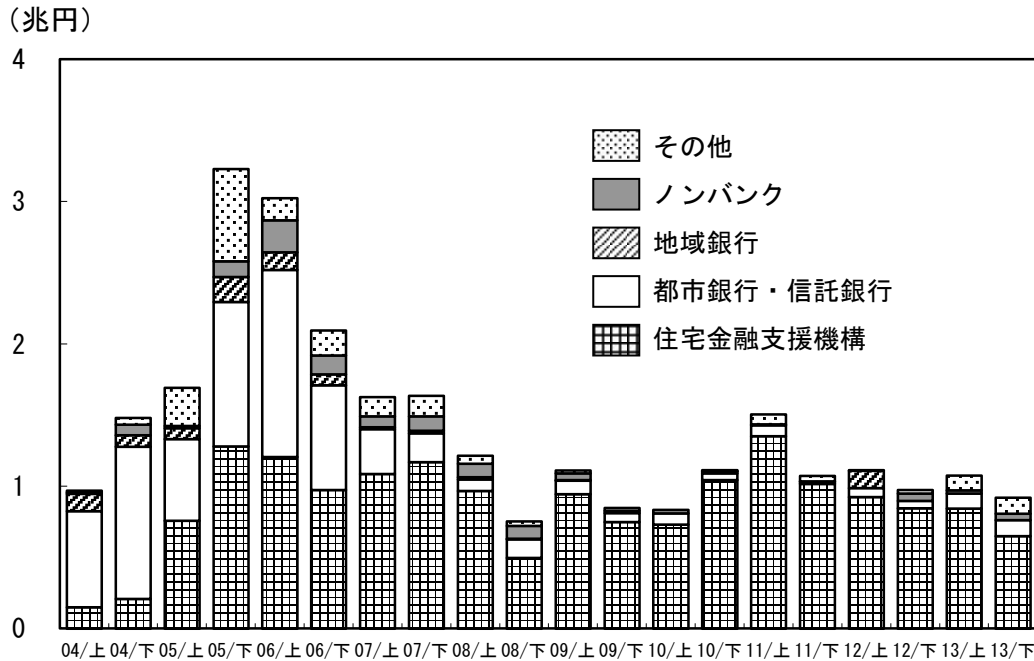
「その他」：基金債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

RMBSの発行動向

① オリジネーター別

RMBSの発行金額（9,194億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が71%（6,498億円）を占めた（図表3）。

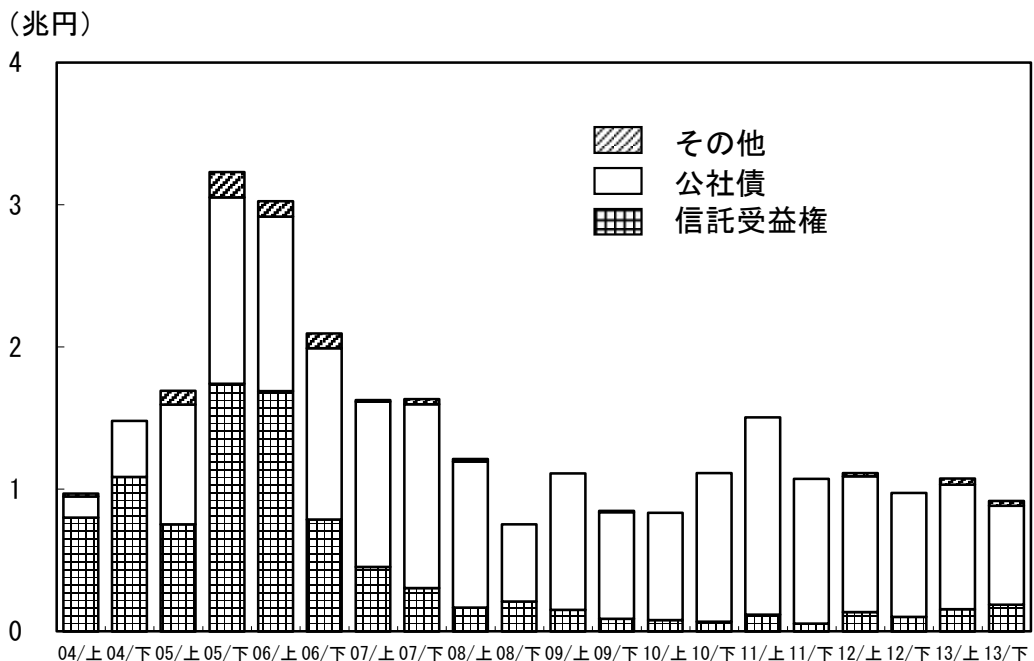
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



② 発行形式別

RMBSの発行金額（9,194億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が76%（6,953億円）を占め、次いで「信託受益権」が20%（1,883億円）を占めた（図表4）。

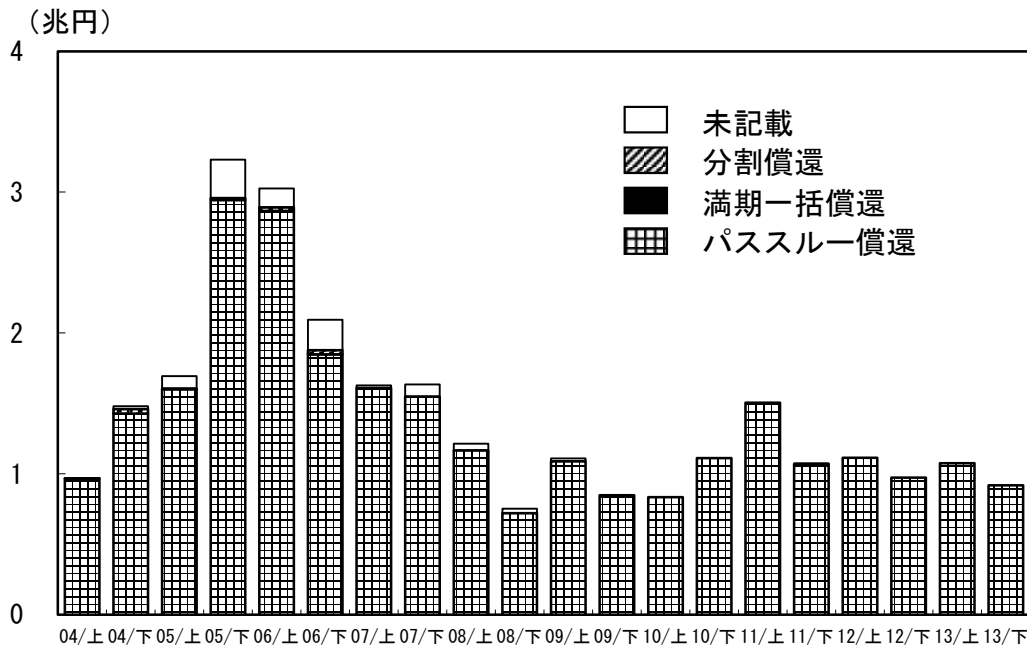
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③ 償還方法別

RMB Sの発行金額(9,194億円)を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった(図表5)。

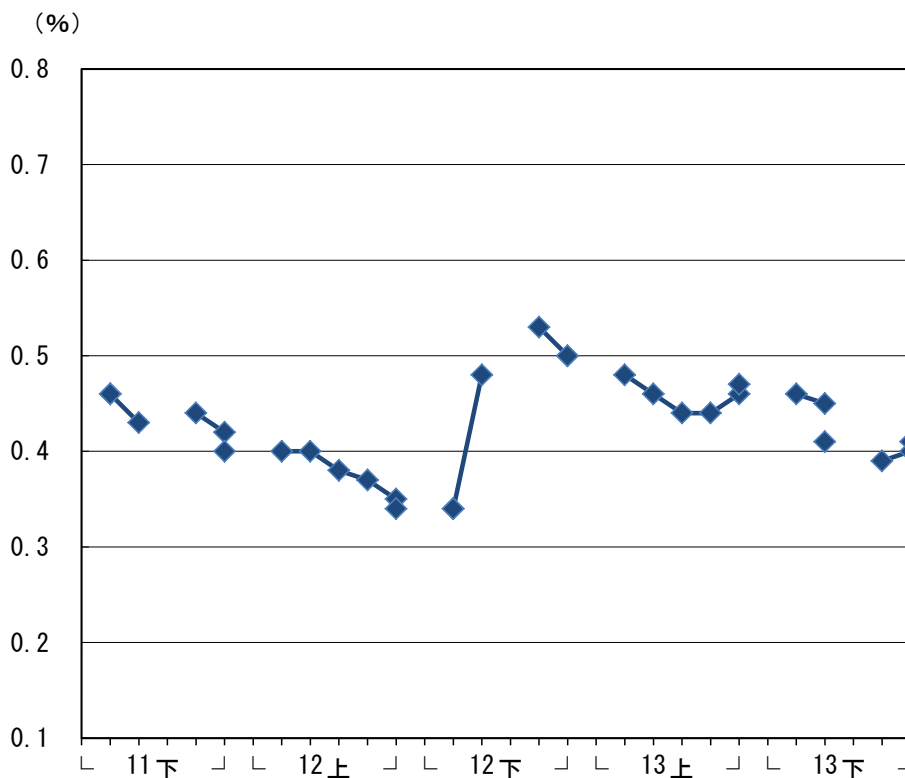
(図表5) RMB Sの「償還方法」別発行金額



④ 発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMB S(月次債)のローンチスプレッド(表面利率と条件決定時の国債利回りとの差)は、2013年度下半期においては2014年2月発行分まで縮小した後、3月発行分では拡大した(図表6)。

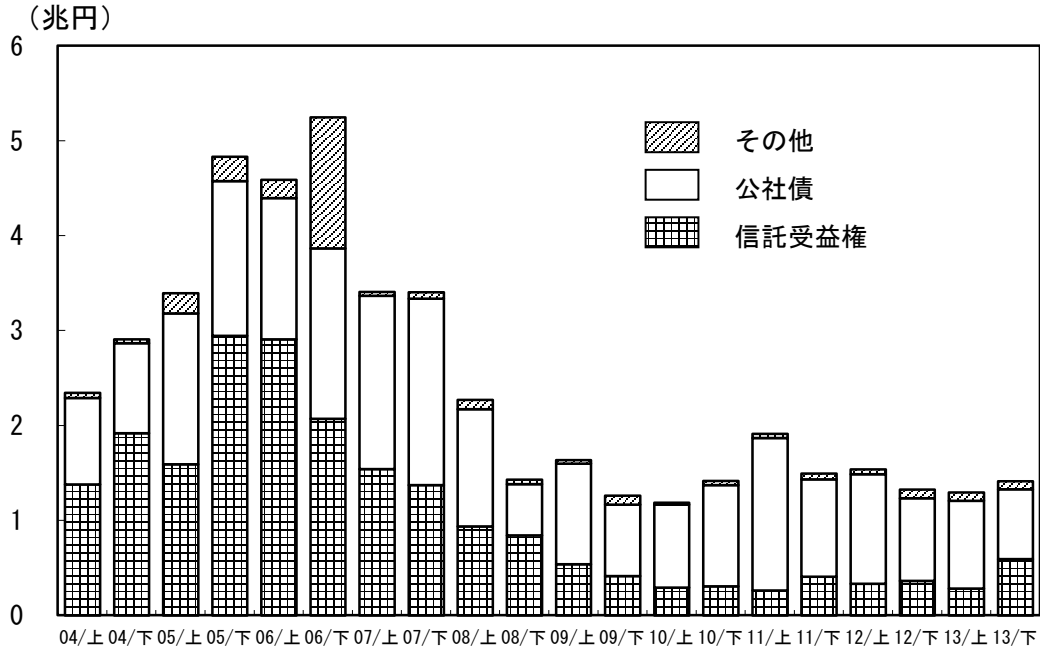
(図表6) 住宅金融支援機構RMB Sのローンチスプレッド



3. 発行形式別の発行動向

2013年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆4,140億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が52%（7,353億円）を占め、次いで「信託受益権」が42%（5,938億円）を占めた（図表7）。

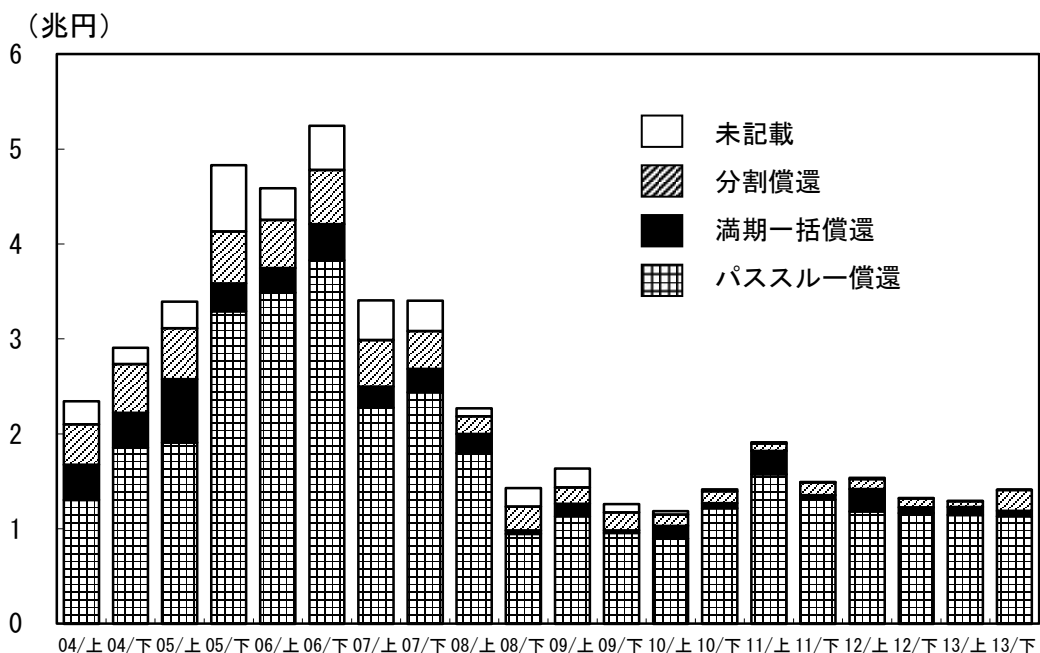
（図表7）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2013年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆4,140億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が80%（1兆1,354億円）を占めた（図表8）。

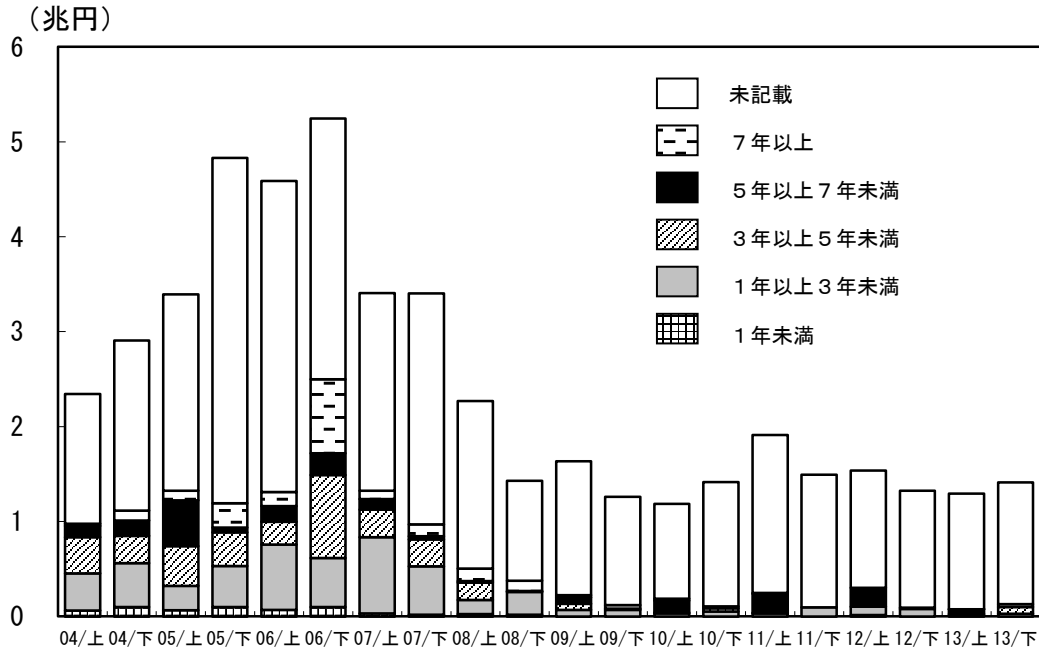
（図表8）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2013年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆4,140億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が91%（1兆2,819億円）を占めたが、記載のある中では、「3年以上5年未満」が5%（700億円）と最も多かった（図表9）。

（図表9）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2013年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆4,140億円）を「格付」別にみると、「AAA」が88%（1兆2,411億円）を占めた（図表10）。

（図表10）証券化商品の「格付」別発行金額

